

高齢者医療費の負担軽減を東京都に求める意見書

社会保障費抑制路線のもと、高齢者の医療費負担増や後期高齢者医療制度等によって高齢者の不安は増大している。

老年者控除が廃止され、また、年金から介護保険料や後期高齢者医療制度の保険料などが天引きされることにより、高齢者の生活は大変になっているからである。そうした中、日の出町は、今年4月から75才以上の後期高齢者医療費の自己負担を無料にすることになった。町民のみなさんから「医療費の無料化はありがたい。」と大変喜ばれている。

かつて、東京都は高齢者の医療費の無料化を全国に先駆けて実施し、とても良い制度だと全国に波及した。

高齢者の医療費負担を大幅に軽減する助成制度を実現することは、高齢者に生活の安心感を与え、長寿を喜べる社会をつくることになる。

よって町田市議会は、東京都に対し、高齢者の大幅な負担を軽減するため、以下の項目を実施するよう、強く求めるものである。

記

- 一、 75才以上の方と70～74才の方の医療費の負担を現在の半分にすること。
- 一、 65～69才の方の医療費自己負担を現在の三分の二にすること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。